

分野:基礎病態学

主科目 副科目	神経薬理学 Neuropharmacology	DM_1202	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)
------------	----------------------------	---------	----	------	------	-----------------

担当	教 授	准 教 授	講 師	助 教	客員教授・その他
板橋	◎青山 晃治			木下 千智 松村 暢子	
-					
-					

	神経薬理学Ⅰ（1年次）				神経薬理学Ⅱ（2年次）				神経薬理学Ⅲ（3年次）			
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概要	合理的な薬物療法を行うため中枢神経に作用する薬理学の理解を深めることを目標とする。反転授業形式の講義を行う。 下記2編の書籍のうち、指定されたページをあらかじめ読んだ上で、指導教員と質疑応答および討論を行う。研究テーマの内容自体ではないが、一般論として、研究を進めるために必要な周辺領域の知識について講義・演習を行い、実習において実際に操作等を行う。				講義・演習・実験を通して治療に使用される薬の理解を深める。反転授業形式の講義を行う。 下記2編の書籍のうち、指定されたページをあらかじめ読んだ上で、指導教員と質疑応答および討論を行う。研究室および大学共同研究設備の機器操作について学び、実際に操作等を行う。				講義・演習・実験を通して絶え間なく導入される新薬について自分なりの評価を可能とし、有効性と安全性を最大限に追求できる能力を養うことを目標とする。反転授業形式の講義を行う。 下記2編の書籍のうち、指定されたページをあらかじめ読んだ上で、指導教員と質疑応答および討論を行う。研究活動に適したパソコンやアプリケーションについて講義・演習を行う。薬理学実験に必要な技術を習得し、実践できる能力を身につける。			
到達目標	① 薬理学関連の英語文献を読み、内容が理解できる。 ② 論文の新規性を指摘できる。 ③ 薬理学実験に必要な技術を習得し、実践できる。 ④ 薬理学的な生データを正しく解釈できる。 ⑤ 医学生生の薬理学実験を指導できる。				① 薬理学関連の英語文献を読み、内容が理解できる。 ② 論文の新規性および改善点を指摘できる。 ③ 薬理学実験に必要な技術を習得し、実践できる。 ④ 薬理学的な生データを正しく解釈できる。 ⑤ 解釈したデータを根拠に、合理的な次の実験計画を立てることができる。 ⑥ 医学生生の薬理学実験を指導できる。				① 薬理学関連の英語文献を読み、内容が理解できる。 ② 論文の新規性、改善点、改善法を指摘できる。 ③ 薬理学実験に必要な技術を習得し、実践できる。 ④ 薬理学的な生データを正しく解釈できる。 ⑤ 解釈したデータを根拠に、合理的な次の実験計画に従って実験を遂行をできる。 ⑥ 医学生生の薬理学実験を指導できる。			
事前事後学修	配布される次回準備資料もしくは指定資料を熟読してくる。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				配布される次回準備資料もしくは指定資料を熟読してくる。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				配布される次回準備資料もしくは指定資料を熟読してくる。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。			
評価方法	受講態度(講義・実習・演習・その他) 100%				受講態度(講義・実習・演習・その他) 100%				受講態度(講義・実習・演習・その他) 100%			

■主な演習(講義・実習含む)

	神経薬理学Ⅰ (1年次)	神経薬理学Ⅱ (2年次)	神経薬理学Ⅲ (3年次)
板橋	月 曜日 16 : 35 ~ 18 : 05 薬物受容体	水 曜日 14 : 50 ~ 16 : 20 薬の作用機序	月 曜日 14 : 50 ~ 16 : 20 蛍光顕微鏡
	火 曜日 16 : 35 ~ 18 : 05 HPLC	水 曜日 16 : 35 ~ 18 : 05 RT-PCR	月 曜日 16 : 35 ~ 18 : 05 小動物脳検体採取
	木 曜日 16 : 35 ~ 18 : 05 小動物の扱い	金 曜日 16 : 35 ~ 18 : 05 Western blotting	金 曜日 14 : 50 ~ 16 : 20 研究の評価
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
-	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :

教科書・参考書

Rosenberg's Molecular and Genetic Basis of Neurological and Psychiatric Disease: Sixth Edition
 Goodman & Gilman's The Pharmacological Basis of Therapeutics 13th Edition

その他履修上の注意事項

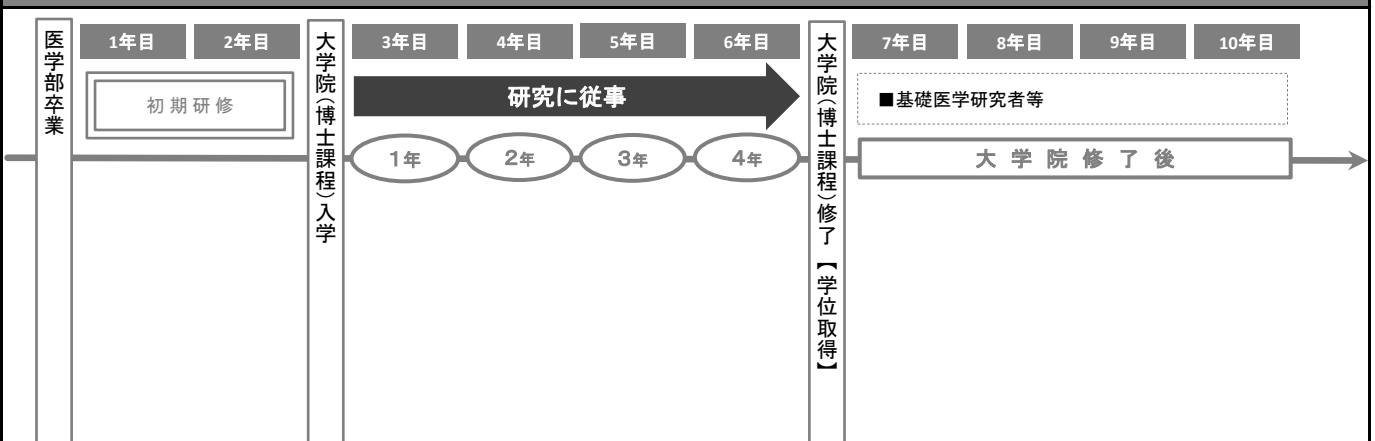
試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関連科目	副科目	分子生体機能学
	共通科目	基礎・臨床神経科学特論(必修)

関連する専門医資格

特になし

キャリアパス(モデルコース)



※社会人枠のキャリアパスについては各講座にお問い合わせください。